



履正社高等学校

RISEISHA HIGH SCHOOL GUIDE 2026







Riseisha *High School*

Contents

教育カリキュラム

- 06 コース一覧
- 08 学びの特徴
- 10 言語技術教育
- 12 学びの個別最適フォロー
- 14 放課後のバリエーション
- 16 国際交流・海外大学進学
- 20 クラブ活動
- 22 在校生インタビュー
- 24 卒業生インタビュー
- 26 行事日程

制服／施設／入試情報・学費

- 28 制服スナップ
- 30 施設紹介
- 32 進路状況
- 34 生徒募集要項
- 36 中学校別在籍者数
- 37 オープンスクール

学校の理念と沿革

- 38 理事長 & 校長メッセージ・沿革
- 39 校訓・校歌



Our Promise

学びをたのしむ人。

学園創立100周年を迎えた2022年、
本校は2022年に生まれた子どもが高校3年生となる
2040年の社会を見据えて新たな教育指針を打ち出しました。

< RISEI VISION 2040 >

1. 知識をスキルへ — 学んだ知識を社会で生きる力にしっかりつなげること
2. 国語を言語技術へ — 言葉を論理的に操り、自立した思考を表現できる力を伸ばすこと
3. ティーチングからコーチングへ — 教えるだけでなく、学びをたのしむ人を育てること

2022年より装いを新たにした「学藝コース」の「藝」の字には、
「植える」という意味があります。古くより教育の根本は、学びの種を蒔くことで
豊かな教養が身につき、やがてそれが花開くということ。

本校は、その教育の花を社会に咲かせることを目標に、
変化の大きな時代を生き抜くための、国際的に通用する力を育みます。
ようこそ、新しい履正社高校へ。

本校のコース一覧

Arts and Sciences

学藝コース S類・I類・II類

定員：440名



自由に選択できる
「専攻ゼミ＋部活動」。

平日は15時15分、土曜日は12時40分までの通常授業をコアタイムとし、放課後の専攻ゼミと部活動を自由に選択できるコースです。各ゼミと部活動は原則週3日の活動で、時間が重ならない範囲で自由に組み合わせて参加することができます(いずれも必修ではありません)。学藝コースの入学生は、トップ国公立大学や医学部医学科への進学を志すS類、難関国公立大学への進学を志すI類、地方国公立大学・難関私立大学への進学を志すII類にクラス分けされます。

履修のイメージ

Daytime

通常授業

平日6限(～15:15)、土曜4限(～12:40)

Special Programs

専攻ゼミ※1

- ・国公立/医学部進学ゼミ(週3日)
- ・スタンダード進学ゼミ(週3日)
- ・グローバル進学ゼミ(週3日)
- ・データサイエンスゼミ(週3日)
- ・Atama+ゼミ(月1日～)

※1 一年次に開講される予定の内容です。

部活動日数

週3日※2

※2 吹奏楽部は強化クラブであり、週6日の活動です。

時間割例(I類の場合)

	月	火	水	木	金	土
8:30～8:45	早朝テスト					
1時限目 8:50～9:40	数学A	生物基礎	LHR	英語 コミュニケーションI	論理表現I	現代の国語
2時限目 9:50～10:40	英語 コミュニケーションI	数学I	体育	現代の国語	体育	数学A
3時限目 10:50～11:40	体育	歴史総合	数学I	情報I	歴史総合	生物基礎
4時限目 11:50～12:40	物理基礎	言語文化	英語 コミュニケーションI	言語文化	言語文化	論理表現I
昼休み 12:40～13:25						
5時限目 13:25～14:15	芸術I	論理表現I	現代の国語	数学I	物理基礎	
6時限目 14:25～15:15	芸術I	情報I	保健	総合探究	数学I	
放課後	部活動・専攻ゼミ・帰宅(ICT活用による反転学習)					

※時間割は一例であり、変更の可能性があります。

履正社高校には、学藝コースと競技コースの2種の学びがあります。

学藝コースは放課後に専攻ゼミと部活動を自由に選択し、組み合わせることができるコース。

競技コースは学問に加え、強化クラブの活動を通じて心身を鍛えることを主眼としています。

Athletic Sports

競技コース Ⅲ類

定員：120名



道をきわめる人を育む、 文武両道の精鋭教育。

学藝コースと同じく平日は15時15分、土曜日は12時40分までが通常授業。全国レベルの競技実績と、学業の両立を特徴とするコースです。3年間で102単位の授業で、部活動で活躍しながら国公立大学に進学する生徒もいます。多くの生徒が日本一を志す環境の中で日々、競技スキルを研鑽して高みをめざしながら、早朝テストなどで主体的な学習習慣を獲得。学業面でも、成功体験を積み重ねることで、自己の成長を実感できる仕組みを取り入れています。

履修のイメージ

Daytime

通常授業

平日6限(~15:15)、土曜4限(~12:40)

Special Programs

強化クラブ※3	部活動日数
サッカー部(男)、硬式野球部、硬式女子野球部、剣道部(男・女)、バレーボール部(女)、ラグビー部(男)、硬式テニス部(男)	週6日

※3 学藝コースに所属しながら、強化クラブに在籍することもできます。詳しくはお問い合わせ下さい。

時間割例

	月	火	水	木	金	土
8:30~8:45	早朝テスト					
1時限目 8:50~9:40	英語 コミュニケーションⅠ	芸術Ⅰ	LHR	物理基礎	保健	歴史総合
2時限目 9:50~10:40	生物基礎	芸術Ⅰ	数学Ⅰ	歴史総合	情報Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ
3時限目 10:50~11:40	数学Ⅰ	論理表現Ⅰ	論理表現Ⅰ	言語文化	物理基礎	総合探究
4時限目 11:50~12:40	論理表現Ⅰ	情報Ⅰ	言語文化	現代の国語	現代の国語	総合探究
昼休み 12:40~13:25						
5時限目 13:25~14:15	総合探究	体育	体育	総合探究	言語文化	
6時限目 14:25~15:15	現代の国語	生物基礎	英語 コミュニケーションⅠ	総合探究	数学Ⅰ	
放課後	部活動(強化クラブ)					

※時間割は一例であり、変更の可能性があります。

履正社高校の学びの特徴

履正社高校の学びには、大きく4つの特徴があります。

めまぐるしく変化する社会で生き抜くために必要なのは、言語技術力と、主体的に学びに向かう力。

I C Tを活用し、オリジナルの専攻ゼミと多文化交流も取り入れて、21世紀型の教育を推進します。

1 探究教育 × 言語技術教育

詳しくは
p.10 へ

すべての学習活動の土台は、「言葉を論理的に扱う力」。本校は「読む」「聞く」「話す」「書く」「考える」力を伸ばす言語技術教育を、総合探究の時間に取り入れ、研修を積み重ねた教員が授業を担当します。

2 学びの個別最適フォロー

詳しくは
p.12 へ

履正社は生徒一人ひとりに向き合う学校です。どの生徒にも自分だけの学びがあり、自分だけの成長があるはず。I C Tを活用することで、今までよりもさらにきめ細やかな個別指導が可能になりました。

3 放課後のバリエーション(学藝コース)

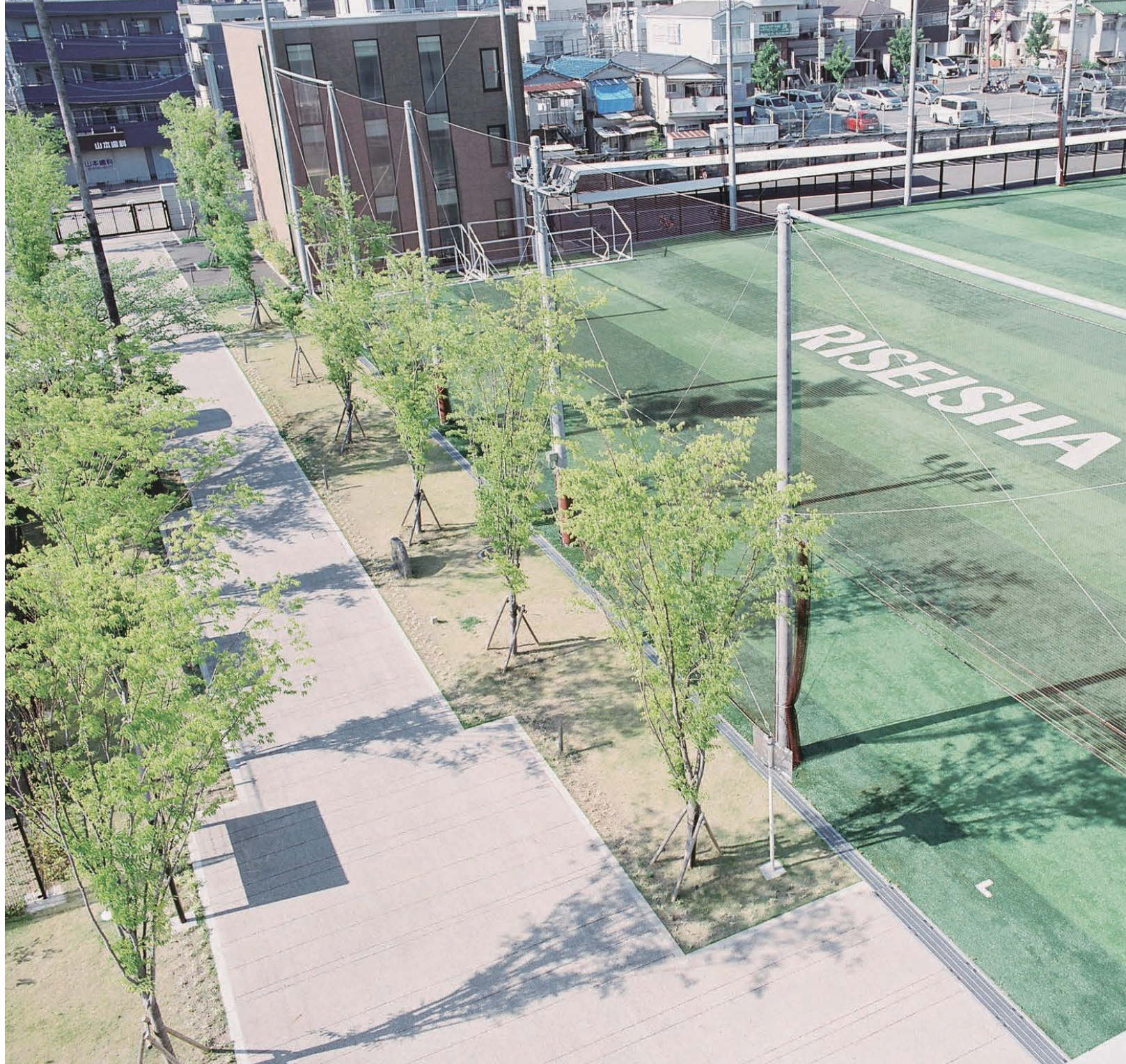
詳しくは
p.14 へ

放課後を、個人の目標に沿ってアレンジできます。平日6限、土曜4限までの通常授業の後は、専攻ゼミと部活動を自由に選択し、組み合わせることで、自分にカスタマイズされたプログラムを作ることができます。

4 国際交流・海外大学進学

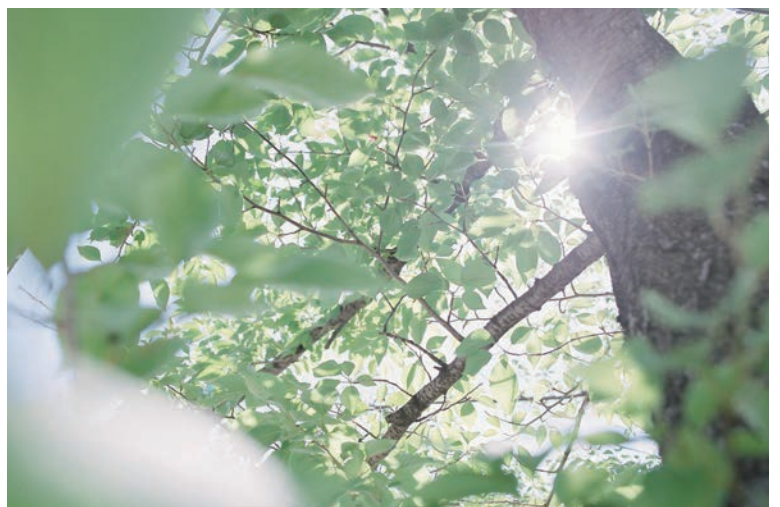
詳しくは
p.16 へ

履正社中高では、「世界は外にあるものではなく、ここが世界だ」をスローガンに、学校にいながらにして多様な国際経験を積むことができる環境を用意しています。また、交換留学や海外大学進学プログラムを積極的に推進します。



校舎風景 I

正門(奥)から新校舎(手前)へと続くアプローチ。道に沿ってケヤキと桜の樹が立ち並び、日中は、元気に駆け回る生徒たちの声が、空の高い人工芝グラウンドにこだましています



Point.1

探究教育 × 言語技術教育

本校は、「言語技術」が全ての学力の土台になると捉え、総合探究の授業を中心に、日本語を論理的に扱うスキルを高めます。このことは、大学の総合型選抜入試や海外大学入試への対策にもつながります。



高等学校 校長

篠岡正和

2023年より履正社中学校の中高一貫クラスで言語技術の授業を担当。2025年4月、本校校長に就任した

探究学習に言語技術教育を取り入れます。

履正社高校は、2026年度入学生より「言語技術教育」を全面的に導入します。2023年から中学校の中高一貫コースで、2024年には高校競技コースの一部強化クラブにおいてのみ取り入れていましたが、2026年からは高校の全クラスでの導入となります。

言語技術教育とは、わかりやすく表現すると「欧米流の国語教育を日本語で実施すること」です。欧米では、母語を論理的に扱うスキルを授業の中でトレーニングしています。本校では、世界各国にない、我々日本人にとっての母語である日本語を論理的に扱って「読む・書く・聞く・話す・考える」力を、様々な

訓練を通して身につけます。

言語技術は、あらゆる学力や学習活動の土台となります。なぜならば、情報を分析し、自分の考えを組み立てて、それをわかりやすく表現することは、全ての教科の学習において求められることだからです。また、言葉を論理的に扱うことのできる力は、英語の修得にも、大学入試にも、将来社会に出てからの仕事にも活かせることでしょう。

本校では、研修を積み重ね、言語技術教育の教授法を学んだ教員のみが授業を担当し、総合探究の時間にトレーニングを実施します（S類のみ、さらに追加で授業を行います）。ぜひオープンスクールなどで、その真の価値を体感してください。

「読む、書く、聞く、話す、考える」の総合トレーニング

「言語技術」のプログラムでは、どのようなトレーニングが行われるのか、ここに一例を紹介します。

<プログラムの例>

1 問答ゲーム

言語技術の基礎・土台となる学習です。問いに対して、必ず主語を入れた上で、結論→根拠→再主張の型で返答するゲーム形式の対話です。これを繰り返すことで、自分の意見に対して責任を持つこと、相手の意見を分析的かつ批判的に聞き取る力が鍛えられます。このゲームを通して身につけた型を、議論の際にも応用します。

2 絵の分析・説明

「絵の分析」は、情報を構造化して整理する能力を習得するために欠かせない取り組みです。絵本から美術館で展示されている絵画まで、情報を論理的・批判的・分析的・多面的に解釈するトレーニングに用います。また、考察した事柄を記述に落とし込み、説明するスキルも重要です。他者に対してわかりやすく情報を伝達するための技術を具体的に習得します。

3 パラグラフ・ライティング

「言語技術」のあらゆる取り組みは、「書く」ことに連動させます。自身の考えを論文形式の文章で表現することを、最終的な目標としているからです。問答ゲームで身につけた返答の型は、実は「パラグラフ」と呼ばれる論文の最小単位になっています。そのパラグラフを組み立てて、世界標準の形式で論文を構成するトレーニングを段階的に行います。

言語技術教育

インタビュー動画のご紹介

2023年に履正社中高でスタートした「言語技術教育」は、欧米で行われている世界標準の母語教育を日本語で実施するというもの。なぜ今、従来の国語教育に代わる「言葉の教育」が必要なのか。本校公式YouTubeでは、様々なゲストスピーカーへの取材を通してその理由に迫ります。



日本サッカー協会名誉会長

たしまこうぞう
田嶋幸三さん

1957年熊本県生まれ。筑波大在学中にサッカー日本代表に。卒業後、古河電工入社。83～86年ケルンスポーツ大学に留学し西ドイツサッカー指導者B級ライセンス取得。筑波大大学院修士課程修了。2001年U-17日本代表監督として世界大会出場。JFA技術委員会委員長として日本代表の強化、JFAアカデミー福島スクールマスターとして若年層の育成に取り組んできた。15年より国際サッカー連盟理事、16年よりJFA会長を経て、現在は同名誉会長

□ 今、サッカー日本代表が強くなってきているのは、30年近く前から言語技術教育を取り入れたことも影響していると思っています。

□ グローバルに通用するのは、自分のことをしっかり伝えられる人。日本語で「論理的に話す力」がなかったら、英語も論理的に話せません。

□ 子どもたちに早い段階で言語技術を教えていくと、すごく身につく。全ての教科、全ての家庭でこれを文化にしていかなければ。

□ 教科を学ぶ際も、「言葉」が身につけていないと、自分が学んだことを表現できない。言語技術は学ぶための基礎的な技術でもあります。

□ 個人がちゃんと自分の足で立って、考えて動く。そういう人間を作るのが欧米の教育です。

□ この技術を身につけている人は日本にはあまりいない。だから企業でも言語技術教育を取り入れました。



元大手金融機関役員

しみずとうご
清水東吾さん

1956年東京都生まれ。中1の夏、家族と共にフランスに移住。高3まで仏英バイリンガル学校で教育を受けた。82年に日本興業銀行（現みずほ銀行）に入行し、みずほコーポレート銀行市場企画部次長、キャリア戦略部長、執行役員秘書室長等を歴任し、2012年に常務執行役員IT・システムグループ副担当役員に就任。13年よりみずほ情報総研株式会社代表取締役副社長。19年から株式会社CAC Holdingsにて専務取締役を経て、現在顧問を務める

本編は公式 YouTube チャンネルで

LANGUAGE ARTS
Talk ARCHIVE.



Point.2

学びの個別最適フォロー

本校は、生徒それぞれに学びのパターンがあると考えています。

ICTを活用し、一人ひとりと向き合うことで
学びの意欲が向上するよう、しっかりとコーチングを行います。



I. タブレット、PCを活用したICT教育

ICTを活用するシーンは主に4つです。①始業前に早朝テストを実施。②授業中はデータを共有し、生徒同士の協働学習を促進します。③面談時には個人データをもとに指導。④家庭でも授業動画等で復習・予習が可能です。

始業前

授業中

面談

家庭学習



II. 個人カルテ (オンライン・ポートフォリオ)の活用

日々の学習・活動履歴、出欠、成績などのデータをクラウド上で一元管理し、可視化された内容をもとにフィードバックを行います。生徒個々の状況に応じた学習サポート、きめ細やかな進路指導を実現します。



III. AI学習ソフトを利用した 「個別レッスン」

本校ではスタンダードな学力を最短かつ確実に身につけるため、AI教材も活用します。生徒は個々の学習進度・レベルに応じた「自分専用レッスン」を日常的にこなすことで、自身の知識の伸長を実感。小さな「成功体験」の積み重ねが主体的な学習習慣の獲得にもつながります。



IV. ネット担任制度の導入

本校は対面だけでなく、生徒のことをよく知る副担任がインターネットを通して生徒をサポートする「ネット担任制度」を導入しています。上記の個人カルテに基づき、集団での対面サポートが難しい課題に対しても、ICTのメリットを活用することで個々に向き合います。



校舎風景Ⅱ

校舎の内部はコンクリートと木、鉄を基調としています。各階は広い空間を取り囲む回廊式の構造になっており、天井が高く、どの方角からもやわらかい自然光が入ってきます



Point.3

放課後のバリエーション(学藝コース)

部活動と、学習系 / スキルアップ系の専攻ゼミ。
学藝コースの生徒は、個人の目標や進路に沿って、
放課後の過ごし方を自由に組み合わせてアレンジすることができます。

専攻ゼミ

- ・国公立/医学部進学ゼミ(週3日)
- ・グローバル進学ゼミ(週3日)
- ・Atama+ゼミ(月1日～)
- ・スタンダード進学ゼミ(週3日)
- ・データサイエンスゼミ(週3日)

組み合わせは自由



※専攻ゼミと部活動の内容は予定であり、変更の可能性があります。

部活動

文化系

- 吹奏楽部(週6日)
- 軽音楽部(週3日)
- 書道部(週3日)
- 放送部(週2日)
- 写真部(週2日)
- 競技麻雀部(週3日)
- 漫画イラスト囲碁将棋部(週3日)
- 競技かるた部(週2日)
- 謎解き研究部(週1日)
- 家庭科部(週2日)

など

運動系

- サッカー(フットサル)部(週3日)
- 軟式野球部(週3日)
- バスケットボール部(週3日)
- バレーボール部(週3日)
- バドミントン部(週3日)
- チアリーディング部(週3日)
- ダンス部(週2日)
- 柔道部(週3日)
- 卓球部(週3日)
- 硬式テニス部(週3日)
- 陸上競技部(週3日)
- 弓道部(週3日)
- 水泳部(週3日)
- クライミング部(週1日)
- ゴルフ部(週3日)

など

(※1) 専攻ゼミ、部活動への参加は任意(希望選択制)となります。(※2) ゼミの掛け持ちも可能です。(※3) 運動部は競技コースの強化クラブとは異なります。
(※4) 吹奏楽部のみ強化クラブとなり、週6の活動です。

Various Seminars

履正社中高 オリジナルの 専攻ゼミ

多様な進路志望に応じて、専攻を選択することができます。曜日が重ならなければ、ゼミを掛け持ちすることも可能です(ゼミの内容は予定であり、変更の可能性があります)。



国公立 / 医学部進学ゼミ (週3日)

トップ国公立大学や医学部医学科への入学を希望する生徒に特化した進学ゼミになります。入学時から先取り学習をスタートさせ、教科ごとに専門的な対策を行います。



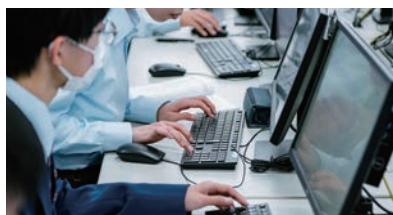
スタンダード進学ゼミ (週3日)

放課後もしっかり学校で学び、苦手教科を克服することで、目標とする大学への合格を実現したい生徒におすすめの専攻です。通常授業の進度に合わせて、土台を盤石なものにします。



グローバル進学ゼミ (週3日)

高校卒業時に海外大学または高い英語力が求められる国内大学への入学を可能にするレベルの英語力を身につけることを目標に、ネイティブ教員を中心に「英語4技能」を伸ばします。



データサイエンスゼミ (週3日)

プログラミング言語「Python」の習得を目標とし、IT企業との協同プロジェクトにも取り組むなど、ゼミで学んだスキルを活用して様々な課題を解決する力を養います。



Atama+ ゼミ (隔週1日)

全国の塾などで導入が進むAI学習教材を用いた学習支援のゼミです。時間や場所を問わず、効率的に学習を進められます。週1回、外部講師による個別学習面談を実施します。

※専攻ゼミは原則無料ですが、Atama+ゼミは有料です。

データサイエンスゼミ

理数系の教員を中心に、プログラミングを通じて数値分析力、論理的思考力を伸ばします。
強化クラブや企業とも連携し、ゼミで学んだプログラミングスキルを通して課題解決に挑戦します。



足立翼先生(左/情報)と寺尾明人先生(右/数学)が、初心者から経験者まで丁寧に指導します。
「2025年度は、食堂の混雑解消や、ラグビー部のフィジカル強化をテーマにした活動を行っています」

ゼミの目標

- ・プログラミング言語「Python」のコーディングスキルを習得すること
- ・学校内や強化クラブの課題を聞き取り、連携して改善につなげる
- ・学校生活をプログラミングの力でより快適なものにするよう、提案し実現すること

ゼミの内容

- ・プログラミング未経験者でも、「Python」言語で100行程度のコードを書けるように基礎から学びます。
- ・学校生活における諸問題に着目し、様々なデータを解析し、改善案を検討します。
- ・強化クラブの課題に対してプログラミングの観点からアプローチし、IT企業とも連携してクラブの強化に貢献します。

開講スケジュール

月・水・木の放課後および火・金・土の放課後(各90分)



グローバル進学ゼミ

ネイティブ教員を中心に、高い目標を持って英語力を伸ばします。
高校卒業時には海外大学への進学が可能なレベルの英語力と国際的視野を身につけます。



担当講師のショーブライアン先生(左)、藤原涼先生(右)はともに海外の名門大学で学位を取った経験があり、海外大学への進学サポート経験も豊富。生徒の圧倒的な英語力向上を個別最適なかたちで支援します

ゼミの目標

- ・高校卒業時点までに海外大学(または高い英語力が求められる国内大学)への入学を可能にする確かな英語力と国際的な視野を身につけること

ゼミの内容

- ・総合探究で取り組む「言語技術」と「英語」を効果的に連携させ、「聞く・読む・話す・書く」の4技能を伸ばします。
- ・AIなどの最新テクノロジーを積極的に活用し、英語での学習機会を飛躍的に増やします。
- ・海外大学進学に必要な知識や情報を得ると同時に、アカデミック・ライティングやパブリックスピーキングのスキルを身につけます。

開講スケジュール

月・水・木の放課後および火・金・土の放課後(各90分) ※宿題が出される場合があります。



Point.4

国際交流・海外大学進学

「世界は外にあるものではなく、ここが世界だ」。

履正社高等学校は、学校にいながらにして国際感覚を身につける環境を整えるとともに、異なる文化の中に飛び込み、多様なものの見方を獲得する機会を提供します。

また、将来の海外大学進学も視野に入れて、挑戦意欲のある生徒を力強く支援します。

Cultural Exchange Program

多文化交流プログラム

2024年9月から2025年4月にかけて
本校で実施されたプログラムを紹介します。

1 インドの留学生受け入れ

2024年9月から12月までの3カ月間、インド北部パンジャブ州から留学生を受け入れました。同国に限らず、今後は中・長期的に留学生を常時複数名受け入れる態勢を整える予定です。また、本校生徒が中・長期にわたって留学し、異文化を体験するプログラムも用意しています。



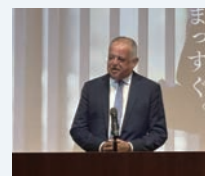
2 インドネシアの高校生(約30名)の受け入れ

2025年1月の4日間、インドネシア共和国・ジャカルタの「サンタ・ウルスラ女子高校」の生徒28名・教員2名が来校され、生徒・教職員との国際交流を行いました。カトリック系の学校との交流を通し、言葉・宗教・文化の違いを越えてコミュニケーションを図る力を培いました。



3 オーストラリアの中高一貫校との交流

2025年3月、オーストラリアの西オーストラリア州(パース近郊)から、共学の名門中高一貫校である「エマニュエル・カトリック・カレッジ」の校長先生と副校長先生が来校されました。現在、両校は学校間の相互交流パートナーシップ締結に向けて準備を進めており、生徒や教職員間の交流が今後始まる予定です。



4 台湾での学術研修の実施

2025年3月、台湾の古都・台南にて「多文化フィールドワーク」を実施しました。これは普段の授業で蓄えた知識や考えたことを、実地でフィールドワークすることでさらに深めるためのプロジェクトです(希望選択制)。初回は高校3年で実施しましたが、今後は中高に順次展開していく予定です。



5 ニュージーランドの高校生(約40名)の受け入れ

2025年4月、ニュージーランドの2つの中高一貫校から、合計約40名の生徒を受け入れました。履正社中高一貫校の生徒たちは、特色の違う二校の生徒たちとの校内での交流や自宅での留学生受け入れ経験を通して、さらに国際感覚を磨きました(本校の在校生のご家庭は、ホストファミリーとしての登録が可能です)。



本校では、海外大学への進学も積極的に推進していきます。経験豊富な教職員が進路指導部と連携し、海外大学出願時に必要な書類作成をサポート。推薦状も作成します。

1. 世界31大学への入学が保証される「U.S. Dual Diploma Program」。

詳しくは
p.18 へ



当プログラムは、アメリカ東部の名門進学校である、「プロビデンス・カントリー・デイスクール」と提携し、本校に通いながら2年間、放課後の校内や自宅でオンラインのライブ授業を受講し、セルフスタディーを進めるものです。プログラムを修了すれば、履正社高校卒業時に、本校卒業証書に加えて米国の高校卒業証書も授与され、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・マレーシア・ドバイの計31大学(各国の大学ランキング上位2~15%)への推薦入学が100%保証されます。条件を満たせば給付型奨学金を得ての米国大学進学も可能になるほか、国内大学の総合型選抜入試でも有利となる上に、「帰国子女枠」での受験も可能になることから、進路の選択肢が国内外で大きく拡がるのが期待されます。

毎年3回(5月、9月、1月)のスタート時期が設けられており、高校1年生の5月からプログラムに参加することができます(履正社高校3年の4月でプログラム修了)。受講には英検2級以上の英語力が必要ですが、準2級、3級の力があれば「準備コース」から始めることもできます。

2. マレーシア6大学との提携。指定校卒の獲得。



2024年、本校はマレーシアの6大学と協定を交わし、各大学3名ずつ計18名分の指定校推薦入学卒を獲得しました。マレーシアは学費が日本の半分程度、欧米の3分の1程度と安価である一方、国際化の達成度や教育水準が非常に高いことから、進学先として近年国際的に注目を集めています。

本校では学術基盤センターの「多言語多文化教育部」と進路指導部の連携のもと、マレーシアも含めた海外への進路を検討する生徒を対象に「海外大学進学説明会」を定期的に開催する予定です。

3. オーストラリアトップ大学への近道となる「UNSW京都キャンパス」との提携。



2024年、本校は世界大学ランキング19位、アジアで第7位(※1)の名門大、シドニーのニューサウスウェールズ大学(UNSW)の大学進学準備(ファウンデーション)コースであるUNSW京都キャンパスと協定を結びました。このプログラムは、履正社高校卒業後に、同コースでの9カ月間の学びを修了すると、UNSWへの入学が100%保証される制度です。

通常、日本の高校を卒業してオーストラリアやイギリスの大学に進学する場合は、現地で英語力や学習スキルを身につける約1年間のファウンデーションコースを修了する必要がありますが、その期間の単位を日本で取得できれば経済面で大きなメリットがあります。さらに本校卒業生は130万円の学費減免を受けることができるため、実質的に国内の私立大学に進学する場合と変わらない金額で1年目を終えて、その後の現地での3年間の大学生活に臨むことができます。(※2)

※1……「QS世界大学ランキング2025」より ※2……オーストラリアやイギリスの大学は3年制です

[日米の高卒資格を取得]

U.S. Dual Diploma Programについて

「US デュアル・ディプロマ・プログラム」(DDP)は、履正社高校に通学しながら、米国の高校のプログラムをオンラインで2年間履修することで、日米の高校卒業資格を取得し、世界31大学への推薦入学が保証されるシステムです。本校を卒業するため、国内大学の受験も可能。海外と国内の両方を進路先に選べることもメリットです。

日米高校卒業資格取得の仕組み

履正社高校の履修単位 ※1

社会系 2 科目
理科系 2 科目
国語系 3 科目
数学系 3 科目
英語系 3 科目
体育系 1 科目
芸術系 1 科目

※1……高校3年間の履修科目から単位認定します。単位認定には、各科目5段階評価で3以上の成績値が必要です。

+

米国プロビデンス・カントリー・デイスchoolの履修単位(10科目、5単位) ※2, 3

科目1 : 海洋学 (0.5 単位)
科目2 : メディアとコミュニケーション (0.5 単位)
科目3 : 再生可能エネルギー (0.5 単位)
科目4 : 芸術鑑賞教育 (0.5 単位)
科目5 : 音楽鑑賞教育 (0.5 単位)
科目6 : ビジネス学入門 (0.5 単位)
科目7 : 英文学と英語表現 A (0.5 単位)
科目8 : 英文学と英語表現 B (0.5 単位)
科目9 : 世界史 A (0.5 単位)
科目10 : 世界史 B (0.5 単位)

※2……原則、科目1から順番に履修します。

※3……各科目の成績は、提出課題&テスト&学習態度/意欲の総合評価(4.0満点)で評価されます。

プロビデンス・カントリー・デイスchool(PCD)高校卒業証

PCD 高校卒業証は、履正社高校卒業時(3月)に授与されます。

受講生の声



星野理紗さん
学藝コース2年

DDPがあるから 履正社に決めました。

——DDPに参加した理由を教えてください。

「私は元々英語が大好きで、『英語で何かを学びたい』という気持ちが強かったです。入学前、母がこのプログラムを見つけてくれて、親子で『ここだ!』と」

——DDPではどんなことをやっているのですか？

「週2回、オンラインのライブ授業があり、それに向けたセルフスタディをオンライン教材で進めます。提出課題や試験もたくさんあります。2年間のうち1年が過ぎて、今のところ成績はオールAが取れています」

——ライブ授業はどんな様子ですか？

「授業は全部英語で、日本各地の中3～高3までの生

徒が20人弱参加しています。みんなで話し合ったり、英語で発表したり、眠そうにしていたらすぐに当てられるので、気を抜くことができません笑」

——DDPを通じて身についたことは何ですか？

「プレゼン力です。もう何回やったか覚えていないくらい、やりました。日本の学校だと、プレゼンをする機会は多くても年に数回だと思いますが、DDPでは英語で、専門的な内容を、他の人が理解しやすい形で何度もプレゼンしなければなりません。あとは漫画を作ったり、AIを使って音楽を生成したり……。授業は本当に楽しくて、参加して本当に良かったと思います」

——将来の夢は何ですか？

「国際的な活動をする職業に就きたいと思っています。DDPはそのための土台を作る場になっています」



校舎風景Ⅲ

カフェテリアは教室と同様に天井が高く、木の温もりのある内装と、緑が心地よいテラスが特徴。定食等のランチを提供しています。厨房からは焼き立てパンの香りも漂ってきます



Club Activities

クラブ活動

学藝コース

学藝コースのクラブは放課後、週3日の活動が基本となります。スポーツ系から文化系まで、さまざまなクラブから自由に選べるのが魅力です。放課後、好きなことに打ち込んで心身ともにリフレッシュ。クラブ活動の時間が学業とのメリハリを与え、生活リズムを整えます。

※吹奏楽部は強化クラブであり、週6日の活動となります。ただし専攻ゼミも受講可能です。
※学藝コースの部活動は競技コースの強化クラブとは異なります。
※条件を満たせば、学藝コースに所属しながら強化クラブに入部することも可能です。
詳しくはお問い合わせください。



吹奏楽部 (週6日)

【部員数】男子8名・女子25名 【活動場所】釜谷記念ホール

【近年の主な戦績】

2024年 第63回大阪府吹奏楽コンクール 北摂地区大会 A部門 金賞受賞
2023年 管楽合奏コンテスト A部門 全国大会出場 優秀賞受賞
2022、2023年 大阪府アンサンブルコンテスト 金賞受賞



軽音楽部



バドミントン部



フットサル部



軟式野球部



バレーボール部



弓道部



柔道部



チアリーディング部



ダンス部



テニス部



陸上競技部



バスケットボール部



ハンドボール部



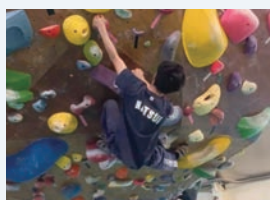
家庭科部



水泳部



卓球部



クライミング部



空手部



ゴルフ部



放送部

その他……漫画イラスト・囲碁将棋部、かるた部、謎解き研究部、競技麻雀部、書道・写真部など

クラブ活動は学業との両立を軸としながら、心身を鍛え協調性や社会性を養います。
学藝コース、競技コースでそれぞれ活動実施日、場所等が異なります。

競技コース

全国に名を連ねる競技実績を誇るクラブがそろいます。充実した設備のなかで切磋琢磨できる環境が強み。競技によっては茨木、箕面にあるグラウンドへ移動し、集中して練習に打ち込むことができます。週6日の活動が原則ですが、学業もしっかり行う文武両道を主眼とします。



硬式野球部

【部員数】男子81名・女子アナライザー6名
【活動場所】茨木グラウンド
【近年の主な戦績】
2023年 第105回全国高校野球選手権記念大会 出場
2023年 第95回選抜高校野球大会 出場
2019年 第101回全国高校野球選手権大会 優勝



女子硬式野球部

【部員数】女子59名
【活動場所】箕面グラウンド
【近年の主な戦績】
2025年 全国高等学校女子硬式野球選抜大会 準優勝
2022、2023、2024年 全国高等学校女子硬式野球選抜大会 第3位
2021年 全国高等学校女子硬式野球選抜大会 準優勝



サッカー部

【部員数】男子 80名・女子マネージャー 6名
【活動場所】茨木グラウンド
【近年の主な戦績】
2025年 高円宮杯 JFA U18サッカープリンスリーグ 関西1部 参戦中
2022年 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ WEST8位
2022年 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会ベスト16



剣道部

【部員数】男子 21名・女子 10名
【活動場所】総合体育館 剣道場
【近年の主な戦績】
2025年 第72回大阪府私立高等学校剣道大会 女子団体 優勝
2024年 第34回全国高等学校剣道選抜大会 大阪府予選男子団体 4位
2019年 第48回魁皇旗争奪全国高校勝抜剣道大会 男子ベスト8



バレーボール部

【部員数】女子 35名
【活動場所】総合体育館 メインアリーナ
【近年の主な戦績】
2022年 近畿高等学校バレーボール優勝大会 5位
2022年 全日本バレーボール高等学校選手権大会 大阪府予選 準優勝
2022年 全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 大阪府予選 4位



硬式テニス部

【部員数】男子 14名
【活動場所】箕面グラウンド(テニスコート6面)
【近年の主な戦績】
2025年 大阪高等学校春季テニス大会(団体の部) ベスト4
2024年 大阪高等学校秋季テニス大会(団体の部) ベスト4
第47回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会男子団体II部 第3位
2023年 MUFG全国ジュニアテニストーナメント 2023出場



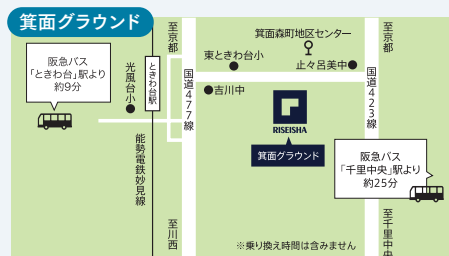
ラグビー部 ※2025年4月創部

【部員数】男子 19名
【活動場所】箕面グラウンド
【近年の主な戦績】
※第105回全国高校ラグビー大会大阪予選 出場予定

アクセスマップ



大阪府茨木市東福井3丁目 38-16



大阪府箕面市森町西1丁目 1-65
※総合体育館は中学校舎内にあります。

Close Up

在校生インタビュー①

学藝コースS類 1年生

くす だ し え り
楠田詩恵里さん

豊中市立第七中学校出身



中学時代と大きく変わったこと。

—履正社高校を入学先に選んだ理由を教えてください。

「高校では勉強と弓道の部活を両方頑張りたかったので、その環境があることが決め手でした。実際、弓道部に入って週に3日間活動していて、残りの3日間は専攻ゼミを履修して英・数・国の勉強に取り組んでいます」

—高校に入学後、自分の中で変わったことはありますか。

「元々私は『人に言われなければやらないタイプ』だったんですが、履正社では、勉強にしても何にしてもできる人ばかりなので、『言われなくてもやらない』『今のままではダメ』と思うようになりました。中学時代は、テスト前だけ勉強していたのですが、履正社高校には早朝テストがあるので、毎日コツコツ勉強するようにもなりました。そのあたりが中学時代と大きく変わったところなのかなと思います」

—入学してみてわかった、履正社高校の特徴は？

「専攻ゼミとかクラブとか、放課後の活動がすごく充実していて、文武両道を高いレベルで実践できる場所です。あと、私は元々数学が好きなのですが、授業が面白いです。問題を解く時、『こうじゃないか』『ああじゃないか』と先生と一緒に考えて、実際に合っていたらすごく楽しいし、ドキドキします。そういう過程やたのしさを味わわせてくれたり、一見、社会的に正しいと思われるようなことでも、『こういう考え方もあるんだ』と独自の視点に気づかせてくれたり。日々

新しい発見があります」

—クラスメイトの雰囲気は？

「仲良くなるのが早かったです。入学して3カ月が経った今は休日に一緒に遊びに行くなど、すっかり打ち解けていると思います。部活動でも、社交的な人が多く、周りから話しかけてくれたので、すぐにどんどん話すようになりました」

まだ知らない 世界のこと。

—高校生活の目標があれば教えてください。

「今のまま勉強も部活動も両立させて、卒業後は大学の法学部に入りたいと思っています。弁護士になりたいからです」

—弁護士を目指そうと思ったきっかけは？

「中学時代に、生徒会で活動していた時、ルールを決めたり変えたりするために自分の意見を言ったり、話し合ったりするのがすごく楽しくて。弁護士はそういうことを仕事にできる職業なのかなと思って目指すようになりました」

—どんな人生にしたいですか？

「色々なことに挑戦する人生にしたいです。この取材も、お話を聞いた時に『挑戦したい』と思いました。まだ知らない世界のことを、今後もたくさん学んでいきたいです」

Close Up

在校生インタビュー②

競技コースⅢ類 2年生

たむらなおゆき
田村直幸さん

宝塚市立御殿山中学校出身



一日一日、新しい自分に挑戦したい。

—他校からも剣道で推薦入学の誘いがあった中、履正社高校を選んだ理由を教えてください。

「剣道と勉強が両立できる学校だったからです。学校によっては、先生に言われた通りのことをずっとやれば良いというところもあると思いますが、履正社は、まずは自分で考えるという自主性を重んじています。今後、生きていくうえで必要な力が身につくと思い、選びました」

—自主性が身についたと自分で感じる点は？

「挨拶や礼儀はその一つです。中学時代までは、形だけの挨拶をしていたと思います。でも今は、先生方や保護者の方々に対して自分から気持ちを込めた挨拶をするようになりました。顧問の先生から『応援される学校になろう』と言われていて、そのためにもまず『学校のみんなから応援されるようになろう』と考えています。相手に対してしっかり挨拶から入ることで、自分に余裕が持てるようになったと感じています」

入ってみてわかった 履正社高校の強み。

—Ⅲ類のクラスメイトの雰囲気を見せてください。

「野球部やサッカー部など、日本を目指す同級生が身近になるので、すごく刺激になります。たとえば食事や身体づくり

の面でも、プロテインを摂るタイミングや練習メニュー、大事な試合前のメリハリのつけ方など、色々聞いていて勉強になりますし、見習う点がたくさんあります」

—入ってみてわかった、履正社高校の良さはありますか？

「早朝テストです。毎朝小テストがあることで、自分の空いた時間を探して勉強に取り組む習慣を作ることができる。これも自主性を身につけるための学校の強みだと思います。レベルもどんどん難しくなってくるので、通学中の電車の中も単語帳を見るチャンスだと思って、時間を大切にできるようになりました。こういう毎日の習慣が自信につながります」

—高校生活の中で、自分自身に期待していることは？

「今年のインターハイ予選では、自分が最後に負けたことで、先輩方の全国大会への道を断つことになってしまいました。この悔しさを忘れず、自分たちの代では全国大会に必ず出場したいと思っています。これは夢ではなく、必ず実現するんだという気持ちで日々稽古をしています」

—どういう人生を送りたいですか？

「一日一日、新しい自分に挑戦して、誰が見ても充実していると思われる人生にしたいです。履正社高校で身につけた自主性をベースに、言われてやるのではなく、何事も自分から挑戦して、自分のダメなところがあればそれに向き合い、試行錯誤していく。そうやって成長していきたいと思っています」



Face

卒業生の今

「そういう人」になれる学校。

夏の盛り、母校での取材に自転車を漕いで駆け付けてくれた常峰さん。今年春に履正社高校を卒業し、現在は大阪大学工学部応用理工学科で学んでいる。

もしかして、大学も自転車で行ける距離ですか？と伺うと、「住んでいる実家から、キャンパスまで自転車で20分ほどです。僕は朝が弱いので、家から近いところがよかった」と大学を選んだ理由の一つを教えてくださいました。

大阪大学工学部の応用理工学科は、主に「機械工学」と「マテリアル生産科学」の二つの専攻に分かれる。常峰さんの志望は人気の高い前者で、1年次の成績によって専攻が確定するため、しっかりと単位を取る必要があるという。「大学の授業は新鮮です。もっと高校までの学びが直接関係しているかと思っていましたが、知識を発展させたり、知識の根拠を問うたりするような内容なので、難しく感じることもあります。ただ、難しい課題にじっくり取り組んで理解を深めていく『姿勢』が求められる点は、高校も大学も変わりません。そのような学問に対する『姿勢』こそ、僕が履正社高校で身につけたことだと思います」

高校時代はバスケットボール部で副主将を務めながら、放課後の専攻ゼミで苦手科目を強化したという常峰さん。「僕はつい数学や英語ばかり勉強してしまうのですが、古文や漢文にも取り組む時間をゼミで確保したおかげで、共通テストではほぼ満点を取ることができました」

そう語る彼に、「履正社高校の良いところ」を聞いてみた。「自主性が身につくシステムがあるところでしょうか。他校のようにたくさんの宿題をやらされたり、強制で勉強させられたりするのではなく、自由な時間が確保できるので、その時間を自分が必要なことに使える。自分でやらなければいけないからこそ、自分で計画を立てて、やりたいことに打ち込める。そういう人になれるところだと思います」

毎日、仲の良いクラスメイトたちと机を合わせてご飯を食べた昼休み。しばしば遅くまで残り、“いつもの席”で勉強した図書館。ウケを狙って笑い合った文化祭。今振り返ると、全ての時間が貴重だったという。

二度とかえってこない高校三年間を自分の力で描ききった常峰さんの顔に、大学生の自信が浮かんでいた。

つねみねしょうた
常峰 渉太 さん

Profile

2006年、大阪府生まれ。豊中市立第十五中学校を卒業後、履正社高校（学藝コースS類）に入学。卒業後は大阪大学工学部応用理工学科に進学し、バスケットボールサークルに所属。「今は大学で芸術鑑賞のサークルを立ち上げたい。将来は新型ゲーム機の開発に携わりたいです」

TSUNEMINE

Shota

Riseisha Events Calendar

[行事日程]

履正社のイベント、 春夏秋冬。

本校では、年間を通して多くのイベントを開催。
時にはクラスや学年を越えて物事に取り組む中で、
多様性を受容する感性や、協働する力を育みます。

4月

入学式
始業式 新入生オリエンテーション
避難訓練
創立記念日 校外学習
スポーツテスト
健康診断

5月

ニュースポーツ大会
中間試験
全校一斉英単語テスト

6月

授業参観
球技大会
人権学習
漢字検定 全校一斉漢字テスト
英語検定(1次試験) GTEC
期末試験

7月

英語検定(2次試験)
夏期特別時間割・夏期ゼミ
三者懇談
修学旅行/北海道or九州orシンガポール・カンボジアor台湾
(学藝コース2年)
終業式

*都合により変更になる場合があります。



8月

校内留学プログラム(希望制)
夏期ゼミ
数学検定

9月

始業式
全校一斉英単語テスト
文化祭

10月

体育祭
英語検定(1次試験)
中間試験
避難訓練

11月

芸術鑑賞会
授業参観(1・2年)
全校一斉漢字テスト
英語検定(2次試験)
人権学習
RISEI CUP(探究発表会)

12月

期末試験
冬期特別時間割・冬期ゼミ
三者懇談(1・2年)
終業式

1月

始業式
英語検定(1次試験)
全校一斉英単語テスト
漢字検定

2月

修学旅行/北海道スキー(競技コース2年)
耐寒マラソン大会
英語検定(2次試験)

3月

学年末試験
卒業式
春期特別時間割
終業式



文化祭



RISEI CUP (探究発表会)



国際交流



競技コース・修学旅行

耐寒マラソン大会

[フォトギャラリー]

制服とわたし。

着こなしのバリエーションが豊富な履正社の制服。
多彩なアイテムを組み合わせ、
自分らしいスタイルが楽しめます。



女子のセーラー服は、クラシックかつモダンなデザイン。世代を問わず人気です

冬の制服は伝統的な紺のスーツスタイル。ジャケットのエンブレムやネクタイなど、知性と躍動感を意識した学生らしいデザインです



女子は夏服にワンピースを選ぶこともできます。深緑に映える軽やかなストライプのデザインが特徴的



男子、女子ともに夏は
すっきりシンプルに。女子のブラウスは、ブルーを基調に、襟と袖口を白に切り替えた、爽快感のあるデザインです



女子のブラウスには、えんじ色のリボンやネクタイを選んで合わせる事が可能。秋冬は落ち着いた紺色のカーディガンを重ね着するのが人気のスタイルです



コートとマフラーは紺とえんじを基調にシックな装い。マフラーの刺繍がアクセントです



施設紹介

阪急宝塚線、大阪メトロ御堂筋線、阪急バスなどでアクセスができる履正社の学び舎。

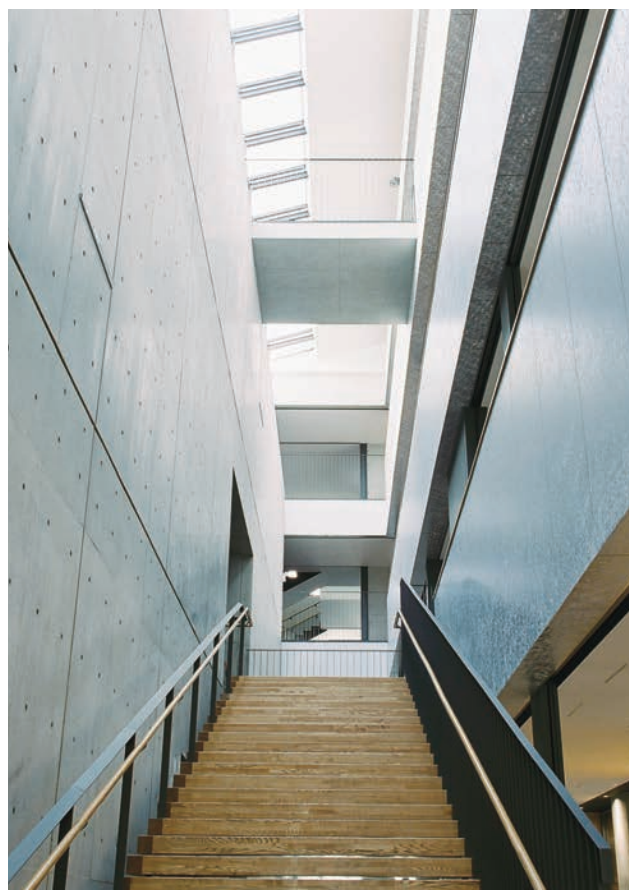
2017年に完成した新校舎、総合体育館棟、広々とした人工芝グラウンドが生徒の健やかな成長をバックアップします。



新校舎の外装は白を基調としたデザイン。周囲の緑との調和が図られています



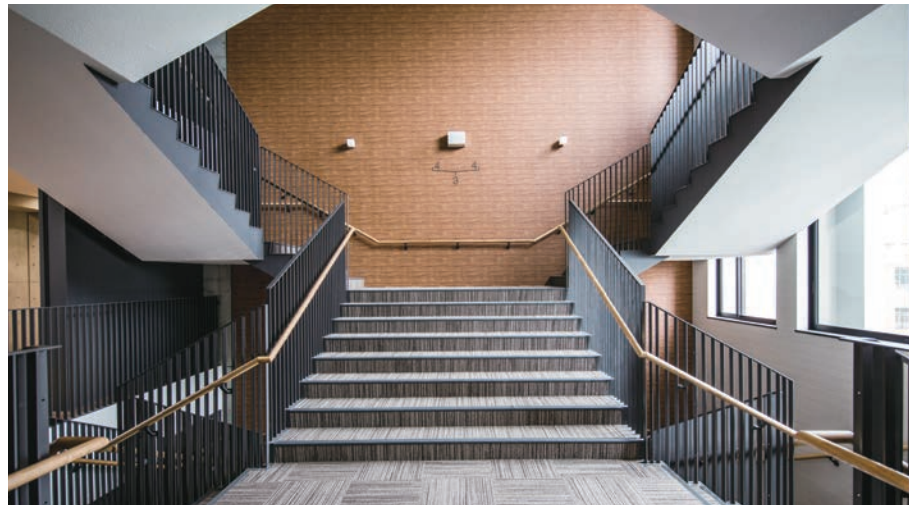
新校舎2Fの記念ホールは約500名を収容。学内行事や保護者会、記者会見などに利用されます



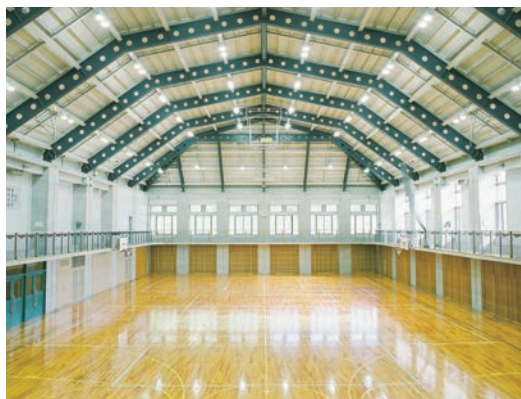
新校舎以外の建物もリノベーションが進んでいます



図書館や教室は天井が高く、窓からは自然光がたっぷり降り注ぐ設計です



横幅が広くとられた新校舎の階段は左右対称の構造。回廊式のフロアをつなぎます



総合体育館棟にはアリーナのほか、柔道場、剣道場、トレーニングセンター、合宿ルームなどが備えられています



茨木と箕面には野球場やサッカー場、クラブハウス、トレーニングルームなどがあり、強化クラブの練習拠点として活用されています

2025年度 進路状況

[国公立大学]

分類	大学名	学部名	合格者数			分類	大学名	学部名	合格者数		
			2025年	2024年	2023年				2025年	2024年	2023年
旧帝大	大阪大学	外国語	1		3	その他	鹿児島大学	水産			1
		工	1				鹿屋体育大学	体育		1	
		医(看護)		2			鳥取大学	医(保健)	1		
九州大学	医(保健/看護学)	1			工			1			
	農			1	農			1	1		
その他	神戸大学	工	1				奈良教育大学	教育			1
		農			1		北見工業大学	工			1
	大阪教育大学	教育	2	1	2		大阪公立大学	現代システム科学域	1		
	三重大学	医(医学)	1					理	2		1
	滋賀医科大学	医(看護)	1					工			1
	横浜国立大学	経営		1				経済	2	1	1
	信州大学	工		1				法		2	
	和歌山大学	経済		1			兵庫県立大学	工			1
		システム工	1					国際商経			1
	徳島大学	理工	1	2			滋賀県立大学	工			1
	香川大学	法	1		1	奈良県立大学	地域創造			2	
	愛媛大学	工	1			福井県立大学	海洋生物資源	1			
	山口大学	工		1		沖縄県立芸術大学	美術工芸			1	
	佐賀大学	農		1							
						国公立大学合計		21	16	18	

[大学校]

大学校名	合格者数		
	2025年	2024年	2023年
防衛大学校	3	1	

国公立大学、大学校、私立大学に、のべ1,613名が合格。

[私立大学]

分類	大学名	合格者数			分類	大学名	合格者数			
		2025年	2024年	2023年			2025年	2024年	2023年	
早慶上理ICU	東京理科大学		1		その他	大阪歯科大学(歯)	1	3		
GMARCH	明治大学			10		関西医科大学(医含む)			11	
	青山学院大学	1	1	1		関西外国語大学	31	21	16	
	立教大学			1		阪南大学	28	23	31	
	中央大学		1			大和大学	60	15	38	
関関同立	関西大学	38	21	21		京都外国語大学			2	
	関西学院大学	56	32	87		京都橘大学	5	1	2	
	同志社大学	7	9	25		佛教大学	3	10	16	
	立命館大学	19	10	45		兵庫医科大学(医・薬含む)	3		6	
日東駒専	日本大学	2	1	1		帝塚山大学			2	
	東洋大学		1	1		天理大学			2	
産近甲龍	京都産業大学	80	55	99		奈良大学			4	
	近畿大学(医・薬含む)	188	158	223		國學院大学		1		
	甲南大学	17	6	6		帝京大学	1	1		
	龍谷大学	55	18	18		帝京平成大学(薬含む)			1	
摂神追桃	摂南大学(薬含む)	106	70	142	東海大学		3			
	神戸学院大学(薬含む)	55	27	35	東京農業大学	1				
	追手門学院大学	149	108	109	日本体育大学	2		1		
	桃山学院大学	103	66	228	南山大学	1				
その他	大阪大谷大学(薬含む)	8		5	福山大学(薬含む)			1		
	大阪音楽大学	4		1	千里金蘭大学	5	1	7		
	大阪学院大学	44	7	23	梅花女子大学	3	4	14		
	大阪経済大学	22	24	23	京都女子大学	12	8	11		
	大阪経済法科大学	164	67	263	同志社女子大学(薬含む)	8	1	4		
	大阪工業大学	45	23	13	甲南女子大学	14	11	19		
	大阪産業大学	68	52	10	神戸女学院大学	5	13	5		
	大阪商業大学	4	4	2	神戸女子大学	2	6	6		
	大阪体育大学	6	6	1	武庫川女子大学(薬含む)	31	18	12		
	大阪電気通信大学	24	17	18	その他の大学<短大含む>	106	75	144		
	大阪医科薬科大学(薬・看護含む)	2	4							
						私立大学合計	1589	1016	1755	
						卒業生数	441	313	406	



2026年度入試 生徒募集要項

募集コースおよび人数

全コース共学 男女計 約560名

コース	学藝コース			競技コース
	S類	I類	II類	III類
人数	約440名			約120名
出願区分	専願もしくは併願を選択			専願のみ

学藝コース

- 入試の成績と希望に応じてクラス(類)分けされます。
- 専願および併願を自由に選択することができます。
- 募集人数には、併設中学校から進学する約70名の生徒を含みます。

競技コース

- 男女強化クラブ生のみで構成し、志願者は在籍中学校長の推薦書を要します(専願のみ)。

出願資格

一般入試	以下1.または2.いずれかの条件を満たす者 1. 2026年3月に中学校卒業見込みの者、またはこれに準ずる学校に在籍し、同等の教育課程を修了見込みであると本校学校長が認めた者 2. 2025年3月に中学校を卒業した者、またはこれに準ずる学校に在籍し、同等の教育課程を修了していると本校学校長が認めた者
帰国生入試	一般入試の出願条件を満たす者のうち、以下 1.~3. 全ての条件を満たす者 1. 日本国籍を有し、保護者の海外在留に伴って外国で教育を受けた経験を有す者、または受けている者 2. 海外在住期間(*1)が1年以上の者で、帰国後の期間(*2)が2年以内の者 3. 入学後、保護者(またはこれに準ずる者)の元から通学できる者

(*1) 海外在住期間は、3カ月以上連続して保護者に帯同した期間の合計とします。(*2) 帰国後の期間とは、最終帰国日から帰国生入試の実施日までとします。

出願手続き

出願手続きには、インターネットを利用した出願情報登録が必要になります。詳しくは別紙「2026年度入試 生徒募集要項(P.5)」をご確認ください。

出願情報登録	2025年12月15日(月)~2026年1月27日(火) ※左記期間内に登録(入力)が可能です
受験料	25,000円
受験料の支払	2026年1月12日(月・祝)~1月27日(火) ※帰国生入試の場合、本校より帰国生徒の認定を受けた後に受験料をお支払いください
出願書類	以下 1.~3. の書類一式を出願期間内(2026年1月20日~1月27日)に本校へ提出 1. 入学志願書 2. 個人報告書(調査書) 3. 証明書(写)貼付票 ※検定優遇制度に該当する方のみ提出。
出願方法	原則、郵送のみ ※ただし、帰国生入試はその限りではない

受験型(一般入試)

出願時に希望する受験型を選択できます(競技コースは2型のみ)

コース	学藝コース				競技コース
	5型	4理型	4社型	3型	2型
受験科目	国・英・数・理・社	国・英・数・理	国・英・数・社	国・英・数	国・英
時間・配点	各教科50分・100点満点				
判定方法	5型で受験の場合、5型・4理型・4社型・3型のいずれかで最も高い教科平均点を判定点とする。	4理型で受験の場合、4理型・3型の教科平均点を比べ、高い方を判定点とする。	4社型で受験の場合、4社型・3型の教科平均点を比べ、高い方を判定点とする。	3型で受験の場合、その教科平均点を判定点とする。	2型で受験の場合、その教科平均点を判定点とする。

*学藝コースでは「アラカルト採点方式」を導入しますので、最も高い平均点が判定点となります。

受験型(帰国生入試)

帰国生入試は、学藝コースのみの実施となります

コース	学藝コース
受験型	1教科+適性型
受験科目	英語(2技能[reading&writing])・言語技術(再話)
時間・配点	各教科50分・100点満点
判定方法	英語および言語技術の平均点を判定点とする

*再話は、日本語で物語を聴き、その内容を日本語の文章で再現する適性テストです。

入試優遇制度

検定優遇制度 保有する検定級・スコアに応じた点数を判定点に加算し合否判定します。

各種英語検定	CEFRレベル	A2	B1	B2	C1	C2
	加算		4点	6点	8点	10点

*CEFR(セファール)とは、グローバル標準の外国語評価指標で、異なる団体が実施する検定等を統一した基準で評価できる指標です。
*各種英語検定は、実用英語技能検定(英検)の他、IELTS、TOEFL、TOEICなど、CEFRレベルに換算できる検定すべてが対象です。
*英検で検定優遇制度を利用する場合、級合格の有無に関わらず、出願時に英検CSEスコアを提示してください。

	保有する級	準2級	2級	準1級	1級
日本漢字能力検定	加算	4点	6点	8点	10点
実用数学技能検定	加算	4点	6点	8点	10点

ファミリー優遇制度 2親等以内の親族が本学園(中学校・高校・専門学校)に在籍、又は出身者の場合、判定点に5点を加算し合否判定します。

廻し合格制度

専願・併願問わず、学藝コースへ出願の際には、第1志望から第3志望の類まで選択することが可能です。第2志望(または第3志望)の類を選択した受験生が、第1志望(または第2志望)の類の合格判定点に満たなかった場合、改めて第2志望(または第3志望)の類で合否判定を行います。結果、当該類の合格ラインに達している場合、合格発表の際に「廻し合格」を通知します。第2志望以降の類が未選択の場合は、第1志望の類のみの合否判定となります。

入試日程

入試日時 2026年2月10日(火) 集合:8時30分 **試験会場** 本校・各教室

持ち物 受験票、筆記用具、昼食(一般入試の2型もしくは3型、または帰国生入試を受験する者は不要)

*受験型により昼食の有無、および試験終了時間が異なりますので、事前にご確認ください。 *定規、分度器、コンパス、電卓およびそれに準ずる物の持ち込みと使用は認めません。

入試区分	9:00-9:50	10:15-11:05	11:30-12:20	12:20-12:55	13:05-13:55	14:20-15:10
一般入試	国語	英語	数学	(昼食)	理科	社会
帰国生入試	言語技術	英語	—	—	—	—

学費・諸費

	入学金	280,000円	専願者 2026年2月22日(日)・併願者2026年3月21日(土)までに納入
入学前 (男子) 550,000円 (女子) 595,000円	制服その他制成品代金	男子145,000円 女子190,000円	採寸日 専願者 2026年2月22日(日) 併願者 2026年3月21日(土)
	教科書代金	62,000円	
	タブレット端末等諸備品	63,000円	
	入学後 (学藝コース) 799,130円 (競技コース) 849,130円	授業料	560,000円
施設設備費	80,000円		
諸費計 諸費には校外学習、芸術、 図書、進学模試費等や諸会費等を含む	(学藝コース) 159,130円 (競技コース) 209,130円		

※いったん納入された入学金・諸費(入学前納入金)は、理由の如何を問わず一切返金できません。
※上記の納入金額等は2025年度の例であり、変更する場合があります。

2025年度 中学校別在籍者数

大阪府下公立 | 1,237名(75.7%)

豊中市計	528
庄内さくら学園	15
第一	39
第二	17
第三	61
第四	23
第五	12
第七	8
第八	14
第九	92
第十一	77
第十二	9
第十三	32
第十四	14
第十五	32
第十六	35
第十七	35
第十八	13
大阪市計	189
相生	2
旭東	1
旭陽	2
井高野	1
下福島	2
歌島	5
花乃井	2
我孫子	1
我孫子南	1
宮原	10
玉出	2
玉津	1
港南	1
高倉	2
高津	1
今津	1
阪南	1
桜宮	1
三国	25
三稜	3
柴島	1
住吉第一	1
住之江	2
十三	6
春日出	1
昭和	1
城東	1
城陽	1
新生野	1
新東淀	7
新豊崎	2
新北野	12
真住	4
瑞光	2
成南	1
生野聴覚支援学校	1
西淀	4
大桐	6
大正西	1
大正東	1
大正北	1
大淀	2
淡路	1
中島	2
佃	6
天王寺	1
天満	4
田辺	2
東三国	2
東	2
東淀	3
南港南	1
南	1
梅香	1
白鷺	1
八阪	3
美津島	8
平野	2
豊崎	4
北稜	2
堀江	2
野田	2
友洲	1
淀川	4

大阪市	3
淀	3
緑	3
董	3
鯨江	1
吹田市計	205
青山台	13
片山	10
佐井寺	10
第一	42
第二	2
第三	1
第五	5
第六	15
千里丘	3
高野台	8
竹見台	20
豊津	22
豊津西	19
西山田	2
古江台	5
南千里	21
山田	2
山田東	5
池田市計	102
池田	35
石橋	18
北豊島	16
渋谷	32
ほそごう学園	1
箕面市計	89
彩都の丘	12
第一	18
第二	9
第三	20
第四	11
第五	19
豊能郡計	10
能勢ささゆり学園	5
東能勢	1
吉川	4
茨木市計	32
太田	1
北	1
彩都西	8
西陵	7
天王	2
西	1
東	4
平田	3
三島	1
南	2
養精	2
摂津市計	7
第一	2
第二	1
第三	2
第四	2
高槻市計	9
芝谷	2
第三	1
第七	1
第八	1
第九	1
第十	1
如是	1
柳川	1
東大阪市計	8
孔舎衛	2
楠根	1
小阪	1
盾津	1
枚岡	3
四條畷市計	1
四條畷西	1

大東市計	4
四条	1
住道	1
深野	1
南郷	1
堺市計	9
泉ヶ丘東	1
浜寺	1
平井	1
福泉	1
美原	1
宮山台	2
陵南	2
守口市計	3
第一	2
庭窪	1
門真市計	1
第三	1
枚方市計	5
長尾西	1
第三	2
第四	1
津田	1
寝屋川市計	4
友呂岐	1
第一	2
第二	1
八尾市計	3
成法	1
大正	1
東	1
交野市計	4
第一	1
第二	2
第三	1
羽曳野市計	1
誉田	1
河内長野市計	2
長野	1
西	1
岸和田市計	2
春木	2
松原市計	4
松原	2
松原第四	1
松原第五	1
和泉市計	4
石尾	1
和泉	1
信太	1
南池田	1
貝塚市計	1
第一	1
高石市計	4
高石	4
泉佐野市計	2
長南	1
佐野	1
大阪狭山市計	1
狭山	1
泉大津市計	1
東陽	1
泉北郡計	1
忠岡	1
三島郡計	1
第二	1

兵庫県下公立 | 171名(10.5%)

西宮市計	22
上ヶ原	2
学文	2
上甲子園	2
瓦木	2
苦楽園	1
甲陵	3
塩瀬	2
大社	4
鳴尾	2
浜脇	1
平木	1
尼崎市計	36
大庄	1
小園	5
小田	5
小田北	1
常陽	1
園田	3
園田東	8
大成	2
立花	2
中央	1
塚口	1
日新	1
武庫	1
武庫東	4
宝塚市計	29
安倉	2
御殿山	5
宝塚	2
中山五月台	1
光ガ丘	2
宝梅	3
南ひばりガ丘	3
山手台	11
伊丹市計	26
荒牧	1
北	8
天王寺川	3
西	2
東	2
松崎	5
南	5
川西市計	21
川西	2
川西南	2
清和台	1
多田	4
東谷	2
緑谷	4
明峰	6

川辺郡計	3
猪名川	3
芦屋市計	3
潮見	2
精道	1
神戸市計	16
有野	1
魚崎	1
大原	2
小部	1
神戸生田	2
向洋	1
鷹匠	1
西代	1
東落合	1
本庄	1
本山	1
本山南	1
義務教育学校港島学園	1
湊翔楠	1
三田市計	3
げやき台	1
八景	2
たつの市計	1
新宮	1
高砂市計	1
荒井	1
三木市計	1
三木	1
洲本市計	1
青雲	1
姫路市計	3
白鷺小	1
朝日	1
安室	1
明石市計	3
大蔵	2
錦城	1
丹波市計	1
春日	1
養父市計	1
八鹿青溪	1

国立・私立・その他 | 226名(13.8%)

国立計	3
大阪教育大学附属池田	2
大阪教育大学附属平野	1
私立計	127
履正社	103
愛知	1
アサンプション国際	1
大阪金剛インターナショナル	1
大阪薫英女学院	1
大阪国際	1
大阪朝鮮中高級学校中等部	1
大谷	1
関西学院千里国際中等部	2
関西大学中等部	1
金蘭会中学校	2
金蘭千里	1
賢明学院	1
神戸海星女子学院	1
桐光学園	1
順天	1
樟蔭	1
相愛	1
智辯学園奈良カレッジ中学部	1
帝塚山学院	1

私立	
東海大学付属大阪仰星高等学校中等部	1
仁川学院	1
梅花	1
その他公立計	92
その他公立	92
海外計	4
海外	4

在校生 | 1634名

2026年度入試 オープンスクールのご案内

「履正社高校をもっと知りたい」という方はぜひ、オープンスクールにご参加ください。

オープンスクールの日程は、巻末をご確認ください



オープンスクール Q & A

Q 申し込み方法は？

A 本校ホームページよりユーザーIDをご登録のうえ、ログインしてお申し込みください。生徒と保護者の方が対象ですが、生徒のみ、保護者のみでの参加も歓迎しております。

Q オープンスクールの内容を教えてください。

A まず、みなさんに学校説明会にご参加いただけます。その後、ご希望の方は個別相談や校舎見学が可能です。また、開催日によっては特別授業が体験できます。

Q 体験授業はどんな内容ですか。

A 履正社の学びの特徴を生かし、みなさんが楽しんでいただけるような授業を予定しています。オープンスクールお申し込み時に、希望する授業を1つお選びください(先着順です)。

体験授業の内容はこちら

言語技術教育

『問答ゲーム』と『パラグラフ・ライティング』

欧米言語圏の多くの学校で実施されている言語技術教育。それを日本語で実施する履正社独自の授業が体験できます。「問答ゲーム」と「パラグラフ・ライティング」を行います。

データサイエンス

『データ分析の基礎スキル』

データを読み解く力を身につけると、問題や課題を早期に発見することができます。そして、その発見はより良い意思決定につながり、「考えることは楽しい」という実感へとつながります。

数学

『君の知らない数学の世界』

知的好奇心。言い替えれば物事を探求しようとする根源的な心。数学に苦手意識があっても大丈夫。普段は深く考えないことを、数学を使って一緒に考えてみましょう！

物理

『金属探知機を作ってみよう！』

中学校の理科や技術の知識を用いて、電子工作の基礎を体験してみましょう。電子工作を体験すると、スマホやゲーム機など、身近なもの成り立ちを理解することができます。

生物

『生物の壮大なパワーを体験せよ！』

ヒトの身体は、感覚器官や内臓、神経などの働きが緻密に関係し合あって成り立っています。そんな私たちの身体のなかでも「ある部分」を使って、酵素の動きを体験してもらいます。

社会

『天下統一大作戦をひも解く』

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康。彼らはどんな作戦で天下を治めようとしたのでしょうか。戦国のリーダーたちの「天下統一大作戦」を、皆さんと一緒にひも解いていきます。

※体験授業の内容は開催日によって異なります。詳しくは本校ホームページよりご確認ください。

個別相談 [選べる相談スタイル]

本校ではオープンスクールの他、さまざまな相談窓口を設け、皆さまからのお問い合わせに対応しております。



来校相談

担当者が対面にてご説明いたします。校舎見学も可能ですので、オープンスクールに参加できない方にもおすすめです。



本校ホームページへアクセスし、予約に必要な情報をご入力ください。



オンライン相談

担当者が各種資料を画面共有しながらご説明いたします。来校が難しい方でも、詳細を知ることができ安心です。



LINE相談

LINEのトークルームを用いて、いただいた質問に担当者がチャットでお答えします。時間を気にせず質問できます。



本校LINE公式アカウントにお友だち登録後、トークルームよりメッセージをお送りください。



電話相談

インターネットでのご相談が難しい方は、まずは電話にて「個別相談希望」とお申し出ください。

06-6195-3336

平日 9:00-16:00
土曜 9:00-14:00



履正社高等学校 校長

篠岡 正和 SHINOOKA Masakazu

「学びをたのしむ人」を育てます。

2022年から履正社高校の学びが、新しく、大きく変わりました。私たちが目指すのは「学びをたのしめる生徒」を育てることです。

21世紀は正解のないことが多い時代です。詰め込んだ知識だけではパターンが決まった問題しか解決できず、それさえAIに取って代わられます。そんな時代を乗り切るために必要な力が、学びをたのしむことによって培われます。

本校には、その力を育むための様々な取り組みがあります。将来の夢を叶えるためのキャリア形成を支援する教職員たちもいます。それらを活用して“マイ・ストーリー”の脚本を書き、主役を演じるのは生徒の皆さん自身です。

3年間の高校生活すべてが、皆さんの学びの場です。履正社高校という舞台上、皆さん一人ひとりが主役となって輝き、生涯にわたって「学びをたのしめる大人」に成長できるよう、私たちは全力でサポートしていきます。

さあ、皆さんも私たちと一緒に、履正社で学びをたのしみましょう！

学校法人履正社 理事長

釜谷 等 KAMAYA Hitoshi

「あなたの成長が履正社の成長です。」

学校法人履正社は、2022年に創立100周年を迎えました。大正、昭和、平成、そして令和と続く激動の100年間を、「履正不長(りせいふい)」「勤労愛好(きんろうあいこう)」「報本反始(ほうほんはんし)」の三箇条からなる「建学の精神」を旗印に掲げて、教育活動を一筋に続けてきました。

本校では、生徒一人ひとりが、この「建学の精神」を心の拠りどころとして日々の生活を送り、もって社会に貢献できる人物となれるように手助けしたいと考えています。100年間をかけて磨き上げた教育システムが、キラ星の卒業生たちを輩出してきました。履正社は更なる改善を繰り返し、これからも成長を続けていきます。

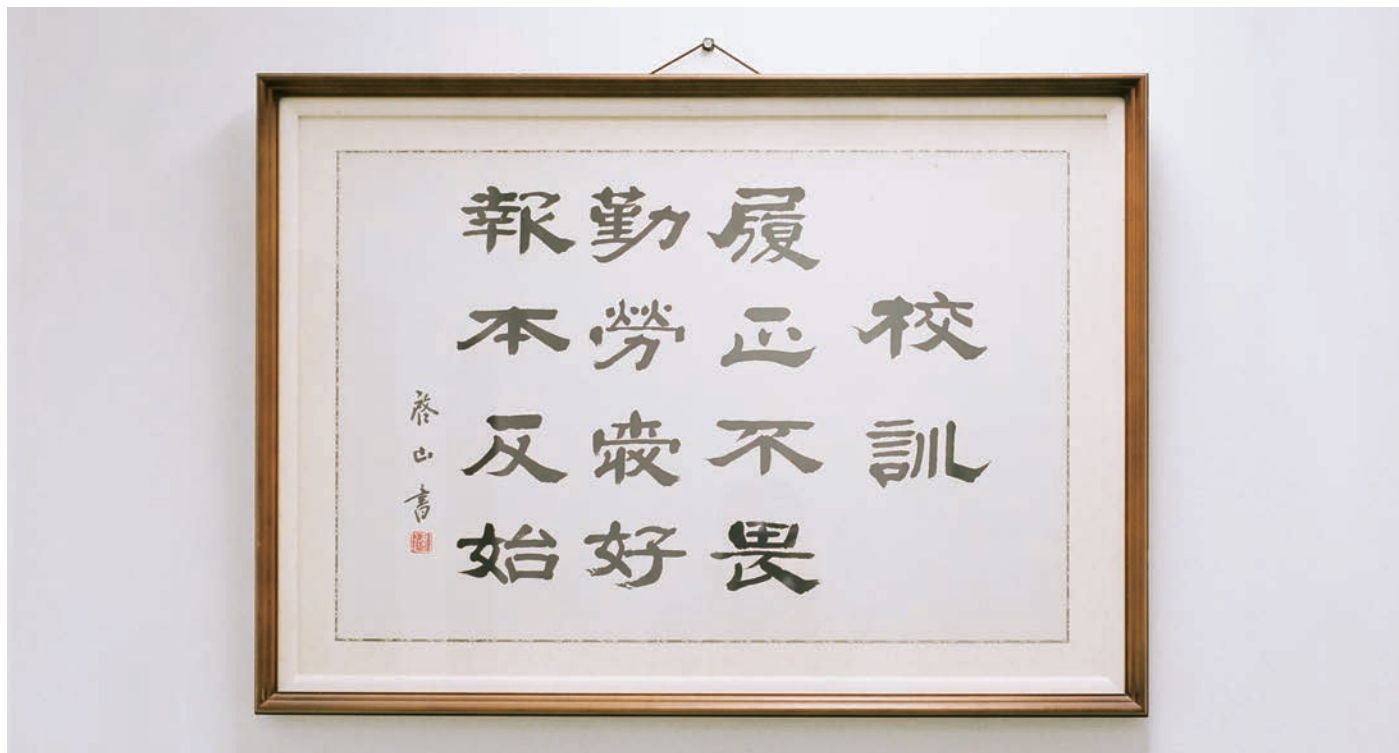
この学校案内を手に入れている中学3年生の皆さん！あなたが履正社を選択してくださることを切に期待しています。あなたの成長が履正社の成長でもあります。ぜひ104年目の入学式で、お会いしましょう。

履正社の沿革



本学園の源流である「大阪府福島商業学校」は、1922年4月に大阪市北区福島(現・福島区)の仮校舎にて開校、授業を開始した。写真は翌年、西淀川区浦江町(現・福島区鷺洲)に竣工した新校舎

- 1922(大正11)年 大阪府福島商業学校として北区福島にて創立
- 1940(昭和15)年 履正社中学校(旧制)を開校
- 1948(昭和23)年 学制改革により新制高校となる
- 1967(昭和42)年 豊中市長興寺南に移転完了
- 1970(昭和45)年 十三経理専門学校開校(~2001年)
- 履正会館完成・スイミングクラブ開設
- 1983(昭和58)年 校名を履正社高等学校と改称
- 1985(昭和60)年 履正社学園豊中中学校を開校(3ヵ年独立コース)
- 1988(昭和63)年 大阪秘書ビジネス専門学校開校
- 2000(平成12)年 男女共学校に移行(6ヵ年特進コース新設)
- 2001(平成13)年 履正社茨木グラウンド竣工
- 2008(平成20)年 専門学校を履正社医療スポーツ専門学校と改称
- 2017(平成29)年 新校舎完成/履正社箕面グラウンド竣工
- 履正社スポーツ専門学校 北大阪校開校
- 2019(令和 1)年 第101回全国高等学校野球選手権大会 優勝
- 2022(令和 4)年 創立100周年



履正社高等学校 校歌

一、華城の精華茲に凝り

見よ栄光のマーキュリー

學徒の憧憬真善美

啓蒙の聖火をかざしつゝ

若き生命を高誦して

學びの海を我往かむ

※ 全五番より一番のみ掲載

本学園の創立者、金谷善藏が説いた、建学の精神である校訓「履正不長・勤勞愛好・報本反始」が、すべての教育活動の根源です。

履正不長

自ら正しいと信ずることを、
何ものも畏れず
正々堂々と実践する。

勤勞愛好

勉学をたのしみ、
夢中になって物事にとりくむことが、
より良い未来につながる。

報本反始

自分の今があるのは縁ある人々
(ご家族や恩師)のお陰であることを自覚し、
その思いに報いるように行動する。

Open School

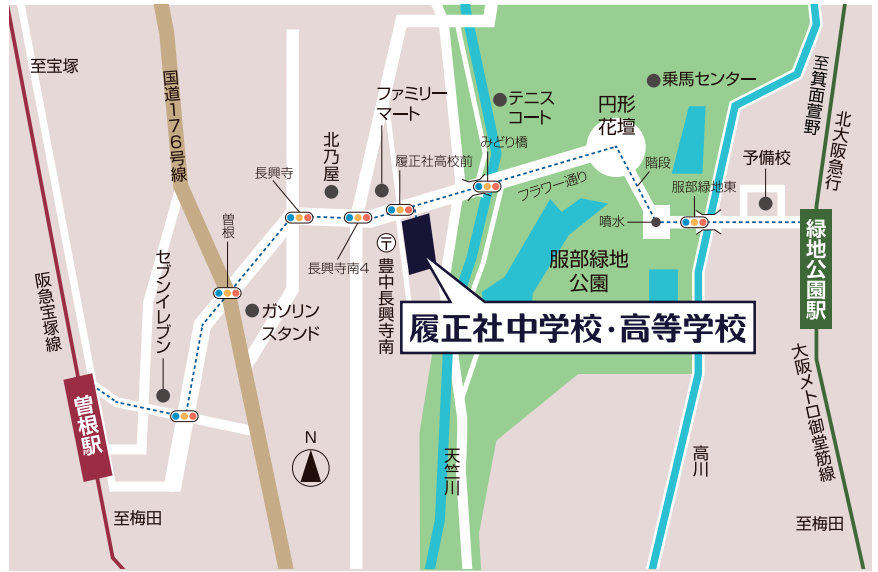
2025年度実施 オープンスクール

日程は変更の可能性もございますので、最新情報はホームページをご覧ください。

- | | | | | | |
|-------|---------------|--------|--------|----------------|--------|
| 第1回 | 2025年 7月27日 日 | 9:30~ | 第7回 | 2025年 10月 4日 土 | 13:30~ |
| ※ 第2回 | 2025年 8月 3日 日 | 9:30~ | ※ 第8回 | 2025年 10月25日 土 | 9:30~ |
| ※ 第3回 | 2025年 8月24日 日 | 9:30~ | 第9回 | 2025年 11月 8日 土 | 13:30~ |
| ※ 第4回 | 2025年 8月30日 土 | 9:30~ | ※ 第10回 | 2025年 11月15日 土 | 9:30~ |
| 第5回 | 2025年 9月 6日 土 | 9:30~ | 第11回 | 2025年 11月22日 土 | 9:30~ |
| ※ 第6回 | 2025年 9月13日 土 | 13:30~ | 第12回 | 2025年 12月13日 土 | 13:30~ |

※……特別体験授業も行います

大阪	千里中央駅	北大阪急行	6分	緑地公園駅	バス	9分
京都	京都駅	JR京都線	23分			
大阪	梅田駅	大阪メトロ	7分	新大阪駅	大阪メトロ・北大阪急行	7分
	大阪駅	JR京都線	4分			
大阪	大阪梅田駅	阪急宝塚線	13分	十三駅	阪急宝塚線	8分
	高槻市駅	阪急京都線	17分			
兵庫	西宮北口駅	阪急神戸線	8分	川西能勢口駅	阪急宝塚線	13分
兵庫	伊丹駅	阪急伊丹線・神戸線	16分			
兵庫	宝塚駅	阪急宝塚線	12分			



■大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行「緑地公園」西へバス9分または徒歩18分
 ■阪急宝塚線「曾根駅」東へバス5分または徒歩15分



履正社高等学校

〒561-0874 大阪府豊中市長興寺南4-3-19 TEL.06-6864-0456(代) FAX.06-6865-1508

riseisha.ed.jp



募集要項など
詳しい内容は
ホームページで。